

52 回生シラバス

科目名： 医療概論		単位数： 1	担当者（実務経験）： ① 学校長（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15 (8)	時期： 1 年前期	
科目目標： ・医学の概念と変遷を知り、医療が担う社会的役割と倫理について学ぶ。						
回	単元	単元目標と内容			方法 担当	学習範囲 事前学習
1	生きることと死ぬこと	1.生命を尊ぶ心 2.健やかに生きる 3.老いてこそ人生 4.穏やかに死ぬこと			講義 ①	教科書① 第 1 章
2	医学と医療	1.温故知新一医学の歴史に学ぶ 2.臨床疫学と EBM			講義 ①	教科書① 第 2 章
3	保健・医療・介護切れ 目ないサポートの実現	1.保健・医療・介護を取り巻く社会環境の変化 2.社会保障制度 3.公衆衛生と保健 4.わが国の医療システム 5.救急医療・集中治療			講義 ①	教科書① 第 3 章
4		6.がん治療 7.周産期医療 8.放射線診断 9.チーム医療 10.リハビリテーション 11.介護			講義 ①	教科書① 第 4 章
5 6	医療と社会	1.医の倫理 2.医療安全 3.医薬品 4.最先端医療 5.医療情報			講義 ①	教科書① 第 5 章
7	医療経済学と医療政策	1.経済学を用いて医療を読み説く 2.転換を迫られる医療政策			講義 ①	教科書① 第 5 章
8	終講試験				試験	
教科書 参考書 教科書 ① (系看) 医療概論 (医学書院：e テキスト) 参考書 ② (別巻) 総合医療論 (医学書院：e テキスト)				評価方法 筆記試験 配点 100 点		
				評価基準 60 点以上で合格とする。		

51 回生シラバス

科目名： 単位数： 勤労者医療概論 1		担当者： ① 医師（内科） ② 事務長 ③ 副校長（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15（8）	時期： 2 年前期
科目目標： ・勤労者の健康と福祉について、社会の変化と発展の経緯や治療と就労の両立支援を担う勤労者の健康対策機関としての役割機能の側面から理解する。 ・職業性疾病、作業関連疾患及び作業関連因子について理解する。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前学習
1	独立行政法人労働者健康安全機構の役割 労災病院の役割 労働衛生行政	・独立行政法人労働者健康安全機構の役割について理解できる。 1.機構の目的 2.機構の業務 ・労災病院の役割と勤労者医療について理解できる 1.勤労者医療の定義 2.勤労者医療の推進にむけた取り組み ・労働衛生行政について理解できる。 1.労働衛生行政の組織 2.労働衛生関連法規と労働衛生の展開 3.労働災害の補償	講義 ②	教科書① I 教科書① II 教科書① IV
2 3	労働衛生（産業保健）	・労働衛生、労働者の健康障害について理解できる。 1.労働衛生の歴史 2.労働者の健康障害 1) 職業性疾病 2) 作業関連疾患 3.我が国における労働衛生の現状 1) 労働災害・業務上疾病の状況 2) 健康診断・健康状況調査結果からみた労働者の健康状態	講義 ①	教科書① III
4	勤労者を取り巻く課題と対策	・勤労者を取り巻く課題と対策について理解できる。 1.職場におけるメンタルヘルス対策 2.過重労働による健康障害（過労死）対策 3.職業性疾病の予防 4.職場における受動喫煙防止対策 5.「がん対策基本法」「がん対策推進基本計画」等	講義 ①	教科書① V
5	勤労者の看護・方法論	・勤労者の看護・方法論について理解できる。 1.勤労者看護の定義 2.勤労者看護の対象範囲 3.勤労者看護の役割 4.勤労者看護の必要性 5.勤労者看護の取り組み	講義 ③	教科書① VI
6 7	勤労者看護の実際	1.勤労者看護業務基準 2.勤労者看護データベースアセスメント 事例をもとに勤労者看護の実際を学ぶ。	講義 ④	
8	終講試験		試験	
教科書 参考書 ① 勤労者医療概論 （独立行政法人労働者健康安全機構）			評価方法 筆記試験 【配点】 内科医師 40 点 事務長 20 点 副校長 40 点	
			評価基準 60 点以上で合格とする。	

担当者①③実務経験あり

51 回生シラバス

科目名：公衆衛生学 単位数：1		担当者：①非常勤講師（臨床 実務経験有）	総時間数（回数）：15（8）	時期：2 年前期
科目目標： ・各種統計から現代社会の健康問題を知り保健医療福祉の活動の必要性について考えることができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	ガイダンス エッセンス 概念・定義/歴史	健康の概念・定義・歴史について理解できる。 健康、健康の社会的決定要因、疾病の自然史 1 次予防、2 次予防、3 次予防 プライマリヘルスケア/ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル ポピュレーション/ハイリスクアプローチ、公衆衛生	講義 ①	教科書① 序章 1 章、2 章
2	保健医療行政 災害・危機管理	保健医療行政・災害・危機管理について理解できる。 保健制度：都道府県、保健所、市町村保健センター 医療制度：医療圏、医療計画・医療費適正化計画 通院者率 地域連携パス：5 疾病・5 事業＋在宅医療 医療費 3 要素 保健師活動 住民との協働 福祉事務所・児童相談所等との連携 保健所の健康危機管理（災害看護）災害拠点病院（医療計画） DMAT/DPAT、DHEAT、フェーズ	講義 ①	教科書① 3 章、11 章 教科書② 4 編
3	保健統計・疫学 生活環境保健	保健統計・疫学・生活環境保健について理解できる。 健康指標 罹患率 有病率 有訴者率 受療率 乳児死亡率 人口動態 出生率 合計特殊出生率 高齢化率 人口ピラミッド 疫学 コホート/症例・対照研究 交路因子 因果関係 地球環境：温暖化、生物多様性、水質汚濁/プラスチック 酸性雨、光化学オキシダント シックハウス症候群、ダイオキシン、 上下水道、公害、アスベスト、放射線 食中毒・食品安全 HACCP ゴミ廃棄物	講義 ①	教科書① 4 章、5 章 教科書② 2、7、9 編
4	感染症 国際保健医療	感染症、国際保健医療について理解できる。 感染症（結核 DOTS）HIV・性感染症等 届出期間 新興/再興感染症 予防接種 検疫 人獣共通感染症・動物由来感染症 WHO 国際協力 JICA/ODA/UNICEF NGO IHR 国際保健規則 1 UHC SDGs	講義 ①	教科書① 6 章、7 章 教科書② 1 章、3 編
5	健康づくり 母子保健	健康づくり、母子保健について理解できる。 生活習慣病 NCD 特定健診・特定保健指導 国民健康づくり運動 健康増進計画（健康日本 21 第 2 次） 生活習慣（喫煙・飲酒・運動等） 健康寿命 健康格差 がん対策基本計画 食育基本計画 国民健康・栄養調査；肥満 健やか親子 21 児童虐待 発達障害 子育て世代包括支援センター 特定妊婦・産後うつ 児童相談所 母体保護法・労働基準法・男女雇用機会均等法・育児介護休業法 子ども子育て支援法 子ども貧困対策促進法 性同一性障害法	講義 ①	教科書① 8 章 教科書② 1 章、3 編 マッピング
6	学校保健 歯科保健	学校保健、歯科保健について理解できる。 組織・職種（養護教諭・栄養教諭）学校保健安全法 学校感染症、食 育、アレルギー疾患対策基本法 医療ケア児 特別支援学校 歯科口腔保健の推進に関する法律 う蝕 歯周疾患 8020 運動 誤嚥性肺炎、オーラルフレイル	講義 ①	教科書① 8 章、9 章 教科書② 3、10 編

7	老人保健福祉 精神保健福祉	老人保健福祉・精神保健福祉について理解できる。 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 新オレンジプラン 地域包括ケアシステム：互助 会地域包括支援センター 難病 特定疾患（介護保険特定疾病） 難病患者医療法 障害者計画 地域精神保健；予防 相談機関；保健所・市町村 自殺予防対策/ゲートキーパー 自殺対策基本法 障害者差別解消法； 合理的配慮、依存症 心神喪失者等医療観察法 公認心理師	講義 ①	教科書① 8 章 教科書② 3、5 編
8	終講試験			
教科書 参考書 ① （系看）健康支援と社会保障制度【2】公衆衛生学 （医学書院：e テキスト） ② 国民衛生の動向		評価方法 筆記試験 100 点		
		評価基準 60 点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり

51 回生シラバス

科目名：社会福祉 単位数：1		担当者：①非常勤講師（臨床実 務経験有）	総時間数（回数）： 30 (15)	時期：2年後期
科目目標： 歴史の変遷や社会の仕組みと社会福祉、社会福祉・社会保障・医療・看護・介護の関係性について学ぶ。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	社会保障制度と社会福祉	A: 社会保障制度 B: 社会福祉の法制度	講義 ①	教科書① 第1章
2	現代社会の変化と社会保障・ 社会福祉の動向	A: 現代社会の変化 B: 社会保障・社会福祉の動向	講義 ①	第2章
3 4	医療保障	A: 医療保障制度の沿革 B: 医療保障制度の構造と体系 C: 健康保険と国民健康保険 D: 高齢者医療制度 E: 保険診療のしくみ F: 公費負担医療 G: 国民医療費	講義 ①	第3章
5	介護保障	A: 介護保険制度創設の背景と介護保障の歴史 B: 介護保険制度の概要 C: 介護保険制度の課題と展望	講義 ①	第4章
6	所得保障	A: 所得保障制度のしくみ B: 年金保険制度 C: 社会手当 D: 労働保険制度	講義 ①	第5章
7	公的扶助	A: 貧困・低所得問題と公的扶助制度 B: 生活保護制度のしくみ C: 低所得者対策 D: 近年の動向	講義 ①	第6章
8 9	社会福祉の分野とサービス	A: 高齢者福祉 B: 障害者福祉 C: 児童家庭福祉	講義 ①	第7章
10 11 12 13	社会福祉実践と医療・看護	A: 社会福祉援助とは B: 個別援助技術（ケースワーク） C: 集団援助技術（グループワーク） D: 間接援助技術と関連援助技術 E: 社会福祉援助の検討課題 F: 連携の重要性 G: 社会福祉実践と医療・看護との連携 H: 連携の場面とその方法	講義 演習 ①	第8章
14	社会福祉の歴史	A: 社会福祉の歴史の見方 B: イギリスの社会福祉の歴史 C: 日本の社会福祉の歴史	講義 ①	第9章

15	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書 ①(系看) 健康支援と社会保障制度【3】社会保障・社会福祉 (医学書院：eテキスト) ②15 歳からの社会保障 (日本評論社) ③国民衛生の動向 (厚生労働統計協会)		評価方法 筆記試験 80 点 演習 20 点 合計 100 点		
		評価基準 60 点以上で合格とする。		

担当者①実務経験あり

51 回生シラバス

科目名： 関係法規		単位数： 1	担当者： ① 非常勤講師 ② 非常勤講師	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 2 年前期
科目目標： わが国の保健医療福祉に関する諸制度の概要とそれを規定する諸法令を学び、看護師として職責を正しく遂行する知識を身に付ける。					
回	単元	単元目標と内容		方法 担当	学習範囲 事前課題
1	法の概念	A:法の概念 B:衛生法 C:厚生労働行政のしくみ		講義 ①	教科書① 第 1 章
2	看護法	A:保健師助産師看護師法		講義 ①	第 2 章
3		B:看護師の人材確保の促進に関する法律			
4	医事法	A:医事法		講義 ①	第 3 章
5		B:医療関係資格法 C:医療を支える法			
6	保健衛生法	A:共通保健法		講義 ①	第 4 章
7		B:分野別保健法 C:感染症に関する法 D:食品に関する法 E:環境衛生法			
8	薬務法	A:薬事一般に関する法律		講義 ②	第 5 章
9		B:人などの組織を用いた医療関連法 C:薬害被害者の救済など D:麻薬・毒薬などの法			
10	社会保険法	A:医療・介護の費用保険 B:年金		講義 ②	第 6 章
11	福祉法	A:福祉の基盤		講義 ②	第 7 章
12		B:児童分野 C:高齢分野 D:障害分野 E:手当			
13	労働法と社会基盤整備	A:労働法 B:社会基盤整備など		講義 ②	第 8 章
14	環境法	A:環境保全の基本法 B:公害防止の法 C:自然保護法			第 9 章
15	終講試験			試験②	
教科書 参考書				評価方法	
①(系看) 健康支援と社会保障制度【4】看護関係法令 (医学書院：eテキスト)				筆記試験 100 点	
②看護六法 (新日本法規)				評価基準 60 点以上で合格とする。	

担当者①②実務経験あり

51 回生シラバス

科目名：健康教育支援 単位数： 1 単位		担当者： ① 教務長（臨床実務経験有） ② 専任教員（臨床実務経験有） ③ 専任教員（臨床実務経験有） ④ 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30 （15）	時期： 2 年後期
科目目標： ・セルフマネジメントを支える諸理論を理解する。 ・各発達段階における健康教育を支援する方法を理解する。				
習得すべき看護技術 「食事指導」				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	セルフマネジメント	・セルフマネジメント及びそれに対する看護の目標、看護師の役割について理解する 1) セルフマネジメントとは 2) 『学習援助型』教育 3) セルフマネジメント支援の構成要素 4) セルフマネジメントにおける看護の目標 5) セルフマネジメントと対象理解 6) 看護師の役割と、必要とされる看護師の能力	講義 ①	教科書① 第 1 章、 第 2 章 教科書④ 第 1 部
2	セルフマネジメントを支える諸理論	・健康に関する行動変容と維持に関しての基礎的理論について理解する 1)健康信念モデル 2)自己効力感 3)変化のステージモデル 4)計画的行動理論 5)ストレスとコーピング 6)ソーシャルサポート 7)コントロール所在 ・セルフマネジメント過程について理解する 1) 対象の理解 2) 援助方法 3) 評価の仕方	講義 ①	教科書① 第 1 章～ 第 7 章 教科書② 第 1 章 教科書③ 第 3 部 14、15、 18 教科書④ 第1部3-3 教科書④ 第 1 部 1 第 2 部 4、 6
3	小児を対象とした健康教育支援	・小児の学習の特徴について理解する 1) 子どもの教育（ペタゴジー） 教育の対象、プレパレーションなど	講義 ③	検討中
4 5 6	小児を対象とした健康教育支援	・小児への健康教育支援の実際について理解する 事例（気管支喘息）を基に教育支援計画を立案、演習を行う	GW 演習 ③	呼吸器 小児の教科書
7	成人を対象とした健康教育支援	・成人の学習の特徴について理解する 1) 成人の教育（アンドラゴジー） 自己効力	講義 ②	教科書③ 第 1 部 6 教科書④ 第 1 部
8 9 10	成人を対象とした健康教育支援	・成人への健康教育支援の実際について理解する 事例（腎不全）を基に教育支援計画を立案、演習を行う 「食事指導」	GW 演習 技術評価 ②	腎泌尿器
11	高齢者を対象とした健康教育支援	・高齢者の学習の特徴について理解する 1) 老人の教育（ジェゴロジー） 学習の弊害になる加齢性変化（聴力、視力、記憶力等）	講義	検討中

12	高齢者を対象とした	・高齢者への健康教育支援の実際について理解する 事例（慢性心不全）を基に教育支援計画を立案、演習を行う 筆記試験	⑤ GW 演習 ④ 試験 ①	循環器 老年の教 科書
13	健康教育支援			
14				
15	終講試験			
【教科書 参考書】 ① 健康行動理論の基礎 （医歯薬出版） ② 健康行動理論・実践編 （医歯薬出版） ③ ナーシンググラフィカ 成人①成人看護学概論（メディカ出版） ④ ナーシンググラフィカ 成人③セルフマネジメント（メディカ出版）			評価方法 ・GWの内容及び参加状況（60点）※各領域 20点ずつ ・筆記試験（40点） 評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり